

# ごとう通信

第 251 号

令和 3 年 11 月 1 日

諸説ありますが、10月に入って急激にコロナ感染者は減り、なんとなく安堵感が生まれますね。本当にこれで収束していつてくれればいいと思います。

こんな時ですが、同じ状況になった時の日本と世界の受け止め方を比較すると、とても面白いです。日本のニュースだけ見ていると、欧米ではマスクもなくして日常生活が戻ったように見えますが、ワクチン接種率は日本より低く、感染者の数も圧倒的に欧米の方が多かったです。本当は総理大臣が「日本はコロナに勝ったぞ！」と言ってガッツポーズをしても世界的には納得という数字

なんです。良い悪いではなく、考え方の違いがあるということですね。

日本のことを良く言えば慎重でまじめ、悪く言えば心配性と言ったところでしょうか。それは今に始まったことではありません。僕のような素人が言う話でもありませんが、先行き不安なのでとにかく貯金をしてしまおう。投資や支出が少ないので経済が回らない…などという話にも共通しているように思います。さて、今後の日常はコロナ前とは変化していきます。特に外食をはじめとする夜の行動。東京に住んでいると「眠らない街」が当たり前でしたが、緊急事態宣言などもあり、少し「眠る街」にシフトしているように感じます。よく考えれば、地方都市でも海外でも、これほど眠らない街は



なかったのですから健全化したとも言えます。

若い人は知らないでしょうが、コンビニのセブンイレブンは7時から11時までやっているんです。24時間が当たり前ではありませんでした。

これを機に健康的な東京にシフトできるといいですね…と言いながら家飲みの終了時間は決まらず。

## 四半世紀

多くの人生の先輩から、耳にタコができるくらい聞いてきたのが、「時がたつのは早い」という言葉。まあ、